

<b>プロシミドンくん煙剤</b> <b>スミレックスくん煙顆粒</b>	<b>取扱メーカー：</b> 北興、住友化学、一農  <b>原体メーカー：</b> 住友化学
<b>成分：</b> プロシミドン〔ジカルボキシイミド系〕……………30.0%	<b>性状：</b> 類白色発煙性円柱状，径約3mm，長さ5～8mm  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 火をつけるだけで簡便に使用できるので，薬剤処理は短時間で済む。
- スミレックス水和剤の項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 発病前の予防的使用がより安定した防除効果を発揮する。
- 同じ作用性の薬剤を過度に連用すると思われぬ病害が問題となったり，薬剤耐性菌出現の危険性が増すのでこれらのことを防ぐため作用性の異なる薬剤と混用するか，あるいは組み合わせて使用する。
- 灰色かび病，菌核病は低温多湿を好む病害であるため雨の多い時など多湿条件の時，あるいは，茎葉が繁茂してきた時などの使用に適する。
- 防除効果は耕種の防除と組み合わせることにより，一段と高くなる。例えば伝染源の焼却，ハウス内の換気，栽培密度など。
- 温室，ビニールハウスなど防除しようとする室の戸や窓を閉め，室内の可燃物を取り除き，室の容積によって使用量を決め，必要に応じてくん煙箇所を数カ所（通常1カ所当り25～50g）に分けて配置し，煙がまんべんなく室内に行き渡るようにする。
- くん煙開始後，少なくとも8時間は開放しない。通常は夕方他の農作業終了後にくん煙を行い，翌朝開放し，十分換気した後に入室する。
- 室外で強い風が吹いている時は，煙が片寄ってしまい，均一な効果が出にくいので使用しない。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 高温時のくん煙は薬害を生じる場合があるのでなるべく夕方温度が下ってからくん煙する。特にトマトには薬害を生じやすいので注意し，くり返し使用する場合は使用間隔を十分（通常14日以上）あける。
- 過度の連用をさけ，作用性の異なる薬剤と組み合わせ輪番で使用する。
- 適用作物（全般及びトマト）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- くん煙する場合は，土間，バケツ，大皿などの不燃性のものの上に磁製容器を置き，その上に本剤をのせてくん煙する。植物体，可燃物から離れた中央の安全な場所にくん煙容器を設置し，ビニールの近くでは発煙させない。
- 点火の際はマスク，手袋などをして，濃厚な煙を吸い込まないように注意し，作業後は顔，手足など皮膚の露出部を石けんでよく洗い，うがいをする。
- 点火後は，発煙をたしかめたら直ちに退室し，室を密閉する。くん煙中はハウス内に入らないようにし，やむを得ず入室する場合は，防護マスクなどを着用する。
- 点火の際，点火紙や顆粒が燃える場合は，直ちに吹き消して白煙を出させる。
- 直接飲食に供するもの，魚類水槽，小鳥類などはくん煙室内に置かない。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用場所	適用病害名	使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	くん煙 時間	使用 方法	70シドンを 含む 農薬の総使用回数	
きゅうり	温室、ビ ニールハ ウス等密 閉できる 場所	菌核病	くん煙室容積 100m <sup>3</sup> (床面積 50m <sup>2</sup> ×高さ 2m) 当り 6 g	前日 まで	6 回以内	通常 10～15 時間	くん煙	6 回以内 (常温煙霧は 2回以内)	
なす		灰色かび病			3 回以内			6 回以内	
いちご					5 回以内			3 回以内	
トマト								5 回以内	
ピーマン		菌核病	くん煙室容積 100m <sup>3</sup> (床面積 33m <sup>2</sup> ×高さ 3m) 当り 10 g	7 日前 まで	5 回以内			3 回以内	5 回以内
すいか									5 回以内
みかん									5 回以内
オクラ									灰色かび病
ししとう	5 回以内	5 回以内							